

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
	<p>b. RHR-B系 LPCI 注入ライン洗浄弁 [V-10-254, 255B]</p> <p>c. CS系 充水加圧 PCV バイパス弁 [V-79-751]</p> <p>3. CRD系 (1) CRD ポンプを起動する。 (2) CRD 駆動水流量調節弁 [FCV-3-19A/B] を手動にて「全開」する。 (3) CRD 駆動水圧力調節弁 [MO-3-20] を「全開」する。</p> <p>4. SLC系 (補6) (1) SLCタンク出口弁 [V-11-11] を「全開」にする。 (2) SLC ポンプ吸込ライン純水入口弁 [V-11-24] を「全開」する。 (3) SLC ポンプ起動キースイッチを「ポンプA」又は「ポンプB」位置とし SLC系を起動する。 a. 潤滑油ポンプの起動を確認する。 b. SLC ポンプの起動を確認する。 c. 「ほう酸水注入中」赤ランプ点灯及び、「ほう酸水注入弁起爆回路断線」警報発生を確認する。 (4) CUW系 隔離を確認する。 (5) SLC ポンプ吐出圧力及びタンクレベルを確認する。</p> <p>5. 消火系 (補7) (1) 消火系～給水ヘッダー連絡メガネフランジを「通水側」にする。 (2) 消火系～給水ヘッダー連絡弁を「開」する。 a. 消火系～給水ヘッダー連絡ラインドレン弁 [V-32-123-1, 123-2] の「閉」を確認する。 b. 消火系～給水ヘッダー連絡弁 [V-77-40, V-32-107-1, 107-2] を「開」する。</p> <p>6. RHR 海水系 (補8) (1) RHRS-RHR 連絡メガネフランジを通水側にする。 (2) RHRS ポンプ(B)又は(D)起動 (補9) (3) RHRS-RHR 連絡弁を開する。 a. 格納容器海水浸水連絡ラインブロー弁 [V-10-288, 390] の「閉」を確認する。 (屋外主変圧器脇)</p>	<p>(R/B 1FL パーソナルエアロック室上)</p> <p>(R/B 2FL 東側)</p> <p>(補6)テストタンク使用の場合も、テストタンク出口弁開前にSLCタンク出口弁を閉にすること。</p> <p>(補7)消火系は給水ラインとの連絡管を用いる。</p> <p>(T/B 1FL ヒータルーム山側)</p> <p>(T/B 1FL ヒータルーム山側)</p> <p>(補8)RHR 海水系による海水注入は、緊急時対策本部(TSC)相談の上実施する。(序-2-1参照)</p> <p><u>(補9)RHRS ポンプが起動できない場合でも原子炉圧力が低い場合は注水ラインを構成すればろ過水タンクの水頭圧差により雑用水系から原子炉へ注水することができる。</u></p>	<p>参考資料 (参考 5) (図 4)</p> <p>参考資料 (参考 5) (図 5)</p> <p>参考資料 (参考 5) (図 1)</p>

7-5(C3)

一般 取扱注意 社内関係者限り 第一運転管理部

(赤字/赤下線は gemini.to によるコメント)

原子炉圧力が高い場合は、自動車用バッテリー 10個でSRVを全開放して圧力を下げる。